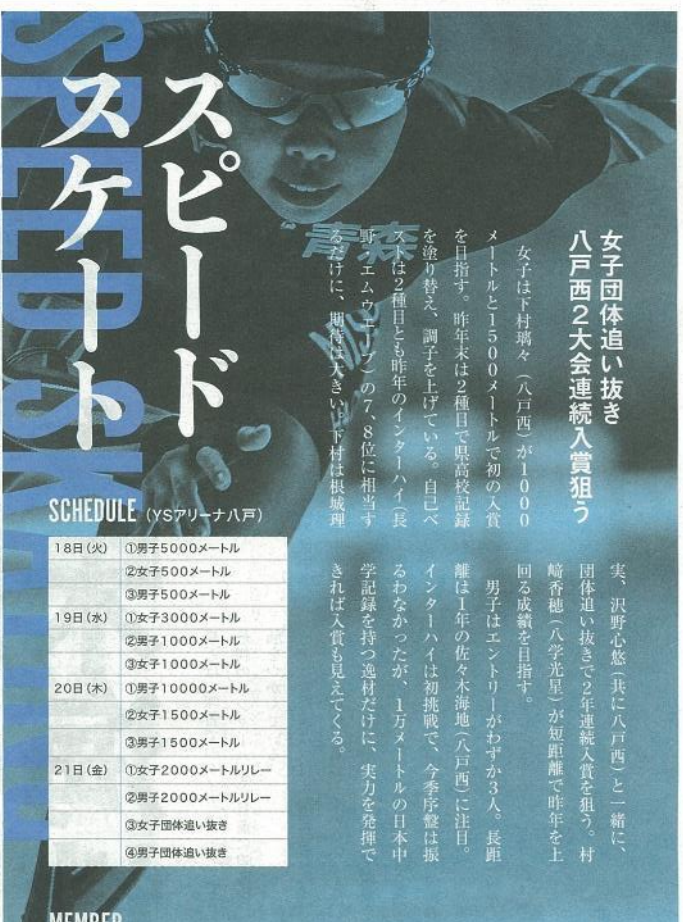


女子団体追い抜き 八戸西2大会連続入賞狙う

女子は下村璃々(八戸西)が1000メートルと1500メートルで初の入賞を目指す。昨年末は2種目で県高校記録を塗り替え、調子を上げている。自己ベストは2種目とも昨年のインターハイ(長野)エムエムエフの7、8位に相当するだけに、期待は大きい。下村は根城理

実、沢野心悠(共に八戸西)と一緒に、団体追い抜きで2年連続入賞を狙う。村崎香穂(八学光星)が短距離で昨年を上回る成績を目指す。
男子はエントリーがわずか3人。長距離は1年の佐々木海地(八戸西)に注目。インターハイは初挑戦で、今季序盤は振るわなかったが、1万メートルの日本中学記録を持つ逸材だけに、実力を発揮できれば入賞も見えてくる。



スピード スケート

SCHEDULE (YSアリーナ八戸)

18日(火)	①男子5000メートル
	②女子500メートル
	③男子500メートル
19日(水)	①女子3000メートル
	②男子1000メートル
	③女子1000メートル
20日(木)	①男子10000メートル
	②女子1500メートル
	③男子1500メートル
21日(金)	①女子2000メートルリレー
	②男子2000メートルリレー
	③女子団体追い抜き
	④男子団体追い抜き

MEMBER

男子
秋田咲星(八戸1年)
佐々木海地(八戸西1年)
柏崎皓貴(八戸西1年)
女子
上田聖華(八戸東2年)
下村璃々(八戸西3年)
沢野心悠(八戸西2年)
根城理実(八戸西1年)
村崎香穂(八学光星2年)
佐々木さや(八学光星1年)

「大会の展望」

限界に挑め

全国高校スケート・アイスホッケー選手権は、氷上競技に打ち込む高校生アスリートにとって目標の舞台でもある。青森県勢はスピードスケート、フィギュア、アイスホッケーの3競技で選手、監督ら87人が自らの限界に、全国の精鋭に挑む。各競技の県勢の行方を展望する。

文：取材班

銀盤劇場

スケートインターハイ 1.17 開幕

アイスホッケー

SCHEDULE (テクノアイスパーク八戸【テ】、フラット八戸【フ】、南部町ふくちアイスアリーナ【ふ】)

	18日	19日	20日	21日
武修館(北海道)	10:00テ			
龍谷富山	9:00テ			
北海道		9:00テ		
東北(宮城)	9:00ふ			
軽井沢(長野)	10:00ふ			
高崎工(群馬)	11:30ふ			
慶応(神奈川)			15:00テ	
北海道栄	12:30フ			
光泉(滋賀)	9:00フ			
関大(大阪)		9:00フ		
渋川工(群馬)	11:30フ			
日光明峰(栃木)	10:00フ			
埼玉栄			11:00テ	
駒大苫小牧(北海道)	16:00フ			
岩手	14:00フ			
釧路江南(北海道)		11:30フ		
武相(神奈川)	11:30テ			
水戸啓明(茨城)	15:00テ			
釧路工(北海道)			17:30テ	
早実(東京)	14:00ふ			
八戸工	12:30ふ			
八学光星	16:30ふ			
清水(北海道)			11:30テ	
工大一	14:00テ			
八戸	12:30テ			
白樺学園(北海道)				

全国選抜準V工大一 上位進出目指す

県勢は、昨年12月の県高校選手権25連覇を果たした工大一、同準優勝の八戸工のほか八戸、八学光星が地元開催の晴れ舞台へ闘志を燃やす。

工大一は昨年8月の全国高校選抜大会で準V。テクニクに優れる川岸丈やスビード豊かな後村統矢ら攻撃陣は力があり、県勢4校では最も上位進出の可能性もある。1回戦は八戸との県勢対決。八戸は選手数で圧倒的に不利だけに、いかに効果的に守って少ない好機を生かせるかがポイントになる。

八戸工は初戦で早実(東京)と激突する。攻守の柱である水田龍門を中心として、粘り強い試合運びで前回8強の意地を見せられるか。八学光星は昨年12月の北海道高校選手権準優勝の強豪・清水とぶつかる。苦戦必至だが、最後まで諦めずに食らい付きたい。

優勝争いは全国高校選抜大会Vの武修館、道高校選手権Vの駒大苫小牧、白樺学園(以上北海道)、埼玉栄のシード4校を中心に繰り上げられそう。

シード4校を含む全国の強豪校には県出身者が主力を担っているチームも多く、戦いぶりに注目が集まる。



八学光星

GK	下館 史典①	
DF	野澤 伸②	
	林 佑樹③	
	下館 歩空④	
FW	坪井 琢真①	
	内藤 叶平②	
	山岸 政③	
	米田 涼悦④	
	大塚倫太郎⑤	
	柏木 奏⑥	
	武藤 泰風⑦	